

越前町の未来考察

小さな親切運動会員と丹生高生

特別授業で意見交換

「小さな親切」運動越前町支部と丹生高は14日、同校で合同の特別授業を行った。中高一貫連携クラスの1年生20人が

支部の会員たちと一緒に未来のまちづくりを考え

た。地域連携のふるさと教育の一環として、昨年度に続いて企画した。同支

部から杉森正義代表ら14人が参加。同校の山口明彦校長の進行で授業が進められた。

ゲストティーチャーとして、今春から地域おこし協力隊として町定住促進課に赴任した大谷幸寛

さんを招待。大谷さんは同町について「自然豊かで、若くて活動的な人が



会員(左側)と生徒たちが魅力あるまちづくりを考察した特別授業＝14日、越前町の丹生高

多いのが魅力的な一方、人口が減って空き家が多

くなり、元気がなくなりつつあるのが課題」との視点を披露し「一緒に活動できる仲間が増えたら

うれしい」と語った。

意見を踏まえ参加者は、どうしたら面白くて魅力あるまちになるのかを6班に分かれて考察。

生徒からは▽インスタ映えするスポットをつくる▽田んぼの稲を7種類の色に▽などのアイデアが出された。会員たちはいろいろの夢を持って発想し、まちに役立ててもらいたい」とエールを送っていた。

(山内孝紀)